



ひとつひとつ
ゆびでおさえて
かぞえよう。



- 10個 []
- 13個 []
- 15個 []

1) マルを、指差ししながら数えさせる。「ひとつ・ふたつ・…」でなく「イチ・ニ・サン…」の漢数字を教えること。
2) 数唱および指差しがマルと対応していることが大事。
3) 10までできれば○記入。出来なければ練習試行。
4) 「ジュウイチ・ジュウニ…」と13以上数えられたら◎。

a) 検査では「13の丸」として知られているが、ここでは検査でははないので15までを置き、練習試行が目的。
b) 学習では「イチ・ニ・サン…」の漢数字が主要になり、和数字が副次的。ただし「4」は「シ」よりも「ヨ」の方が難し、同じく「7」は「シ」よりも「チ」を難めること。

Date
Note